

7月全校朝会講話(R3・7・7)

学校教育目標 「ねばり強さ」

『ルールを守る』について

わたしたちが生活する毎日のくらしの中には、交通ルール、ゴミ出しのルール、公園の使い方のルールなどいろいろなルール・決まりがあります。それと同じように、学校にもいくつかのルールがありますね。なぜ、ルールは守らなければならないのでしょうか。「決められていることだから」「守らないと注意されるから」などルールを守っている理由はあると思いますが、最も大切なことは、なぜ、そのルールがあるのか、そのルールを守ることが大事なのはなぜか、を自分自身でしっかり考えることだと思います。

学校生活の中のルールの一つである「ろう下や階段は、右側を静かに歩きます」について考えてみましょう。ろう下を走ったら注意をされるから守る、ではなく、なぜこのルールがあるのかを考えることが大切です。ろう下を走っている人は、急には止まることができません。そんな時に、教室や曲がり角から人が出てきたらどんなことになるでしょうか。頭などをぶつけた時のことを想像したらとても怖いです。大ケガをさせてしまうことも考えられます。学校は、自分一人で生活している場所では

ありません。自分の安全・命を大切にすると同じように、周りの人たちの安全・命も大切にしていかなければなりません。

わたしたちの身の回りにあるすべてのルールにも、決められたわけ・理由があります。交通ルール、川など危険な場所では遊ばないというルールなども、みなさんの命を守るためのルールです。

学校教育目標の一つである「ねばり強さ」は、自分の心の中で自分自身に対して厳しくできるかどうか、ということだと言えます。

今日お話ししてきたルールについては、まずは、なぜそれぞれのルールがあるのか、自分自身で、その理由をしっかりと考えてください。そして、そのルールを守るために自分自身に対して厳しくできるように心がけてください。そうすれば、学校で暮らすみんなが安心して安全な生活が送れるようになると思います。みんながルールを守れる学校にしていきたいですね。これでお話を終わります

※講話の中では、学校生活の中での「ろう下歩行」を取り上げましたが、校内でのこのルールが守れていないようであれば、毎日の「登下校時の歩行」や地域の生活の中での「道路飛び出し」なども心配になります。また、子どもたちだけで校区外へ行くことや危険な場所（川や池等）で遊ぶことなども命に関わる問題となります。夏休みを前に、学校や地域の生活の中のルールを守ることができているかどうか、また、ルールを守ることの意義についてご家庭でも話題にしていきたいと思いますようにお願いします。

授業参観お世話になりました

7月1日(木)の授業参観には、ご多用の中、ご来校いただき、たいへんお世話になりました。これまで授業参観の計画は立てるものの新型コロナウイルスの感染拡大により実施できず心苦しく感じていたところでした。ようやく保護者の皆様に、子どもたちの学習の様子を見ていただくことができました。子どもたちもとても張り切っていたようです。本来の学校の姿に向けて少し前進できたような気がしています。制約の多い中での参観でしたが、保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。



授業参観(7月1日)

がんばれ！村上せんぱい

託麻南小を平成24年3月に卒業した村上宗隆選手(ヤクルトスワローズ)が、東京五輪野球代表に選出されています。現在の子どもたちと同じように、本校の運動場で必死にボールを追い汗を流していた先輩がオリンピックに出場されること、思いがたくは、地域皆様によっけ、学校横には、設置された有断幕が、熱い声援を送りたいと思います。



ぜひ、お願いします 歯の治療

歯の治療が済んでいない人の割合が、ここ数年高くなっており、歯科保健の充実は、本校の課題の一つとなっています。むし歯のある人は、夏休みの間に、ぜひ治療を済ませていただきますようお願いいたします。